

---

2007年3月期  
中間決算説明会

---

石油資源開発株式会社

2006年11月15日

# 注意事項

本資料に掲載されている当社の現在の計画、見通し、戦略、その他歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しを示したものです。実際の業績は、さまざまな要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。

本資料は、投資勧誘を目的としたものではありません。

Copyright: 本資料に含まれるすべての内容に関する著作権は、当社が有しています。事前の承諾なく、これらの内容を複製もしくは転載することはお控えください。

※ 本資料において 1H, 2H はそれぞれ上期、下期を、(a) は実績数値を、(e) は予想数値を示しています。

本資料に関するお問い合わせ、その他IRに関するご質問は、以下にお願いいたします。

石油資源開発株式会社 広報IR部 IRグループ 電話03-5461-7481

# 目次

---

1. 事業の概況  
代表取締役社長 棚橋 祐治
2. 2007年3月期 - 中間期 実績  
常務取締役 佐藤 弘
3. 2007年3月期 - 通期業績見通し修正  
常務取締役 佐藤 弘

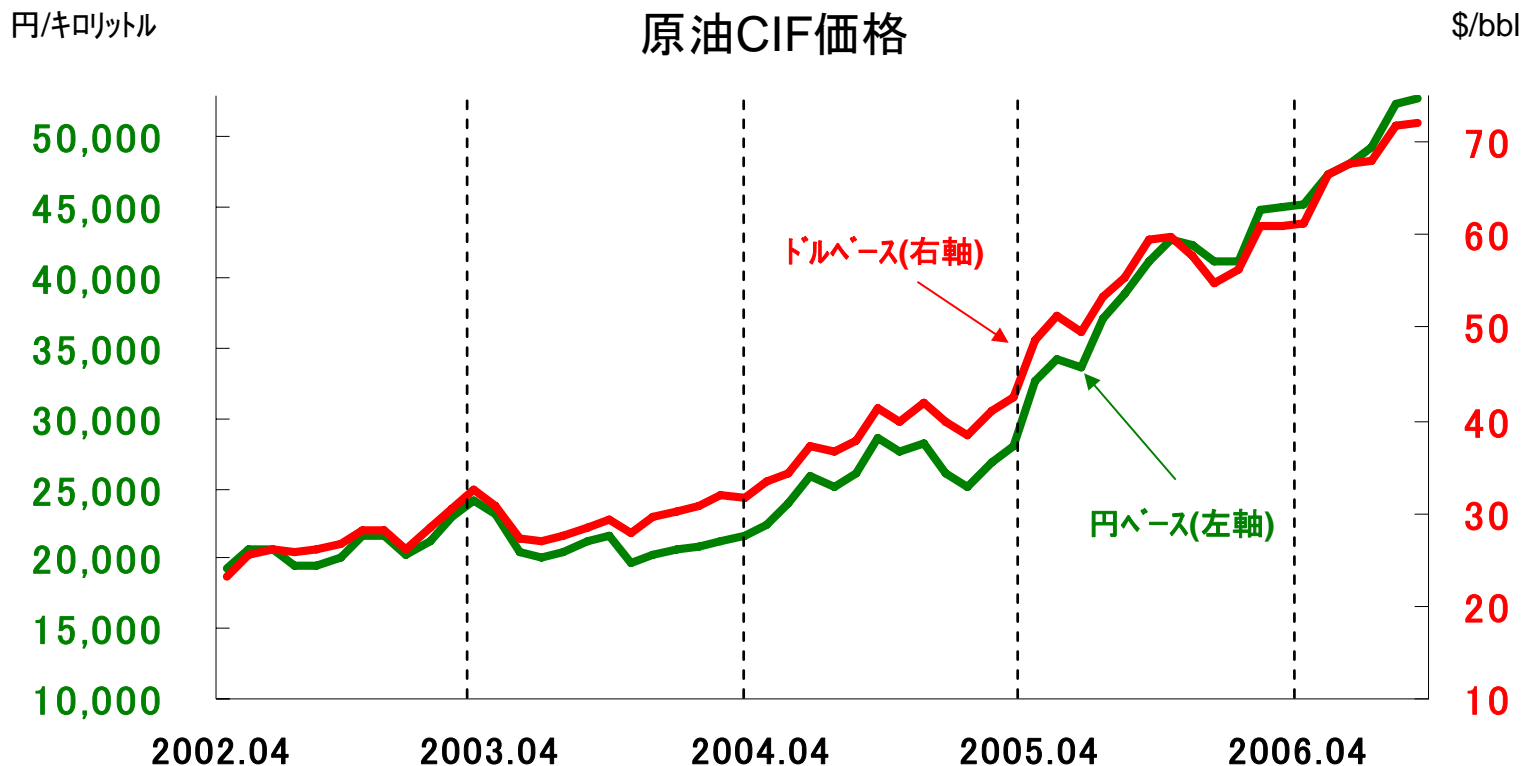
---

## 事業の概況

---

代表取締役社長 棚橋 祐治

# 原油価格の動き



- 原油CIF価格の高騰が続く
- 2006年9月の円建てCIF価格は、52,879円/kl
- 2006年9月のドル建てCIF価格は、71.99ドル/bbl

# 上期事業ハイライト

- 国内探鉱
  - 試掘井「奉行免SK-1」の掘削作業が終了
- 天然ガス供給体制の整備
  - 採掘井「あけぼのSK-4D」を掘削中(12月中旬終了予定)
  - 勇払LNG第2系列の増設工事は順調に進捗(07年年央完成予定)
  - 白石・郡山間ガスパイプラインは、07年3月の操業開始に向け建設工事が順調に進捗
  - 仙台・いわき間海底パイプライン建設計画は、08年着工に向け、地元関係先と協議中
- 海外事業
  - 生産中のプロジェクト会社は、油価高騰により業績堅調
  - サハリン-1の原油輸出設備が完成(下期より原油輸出開始)

# 通期業績見直し修正サマリー

百万円	従来見直し 5月15日	今回 修正見直し		通期	増減
		1H (a)	2H (e)		
売上高	123,910	67,138	90,547	157,685	+33,775
営業利益	20,395	12,528	11,347	23,875	+3,480
経常利益	24,920	15,750	13,080	28,830	+3,910
当期純利益	17,242	10,654	8,887	19,541	+2,299

## 修正のポイント

- 原油CIF価格見直しを上方修正（\$60/bblから\$62.28/bbl）
- 為替レートを円安方向に修正（110.00円/\$から115.20円/\$）
- サハリン1プロジェクトからの原油買入販売に伴う売上高増加

# 試掘 上期実績及び下期計画

## 試掘井 掘削スケジュール

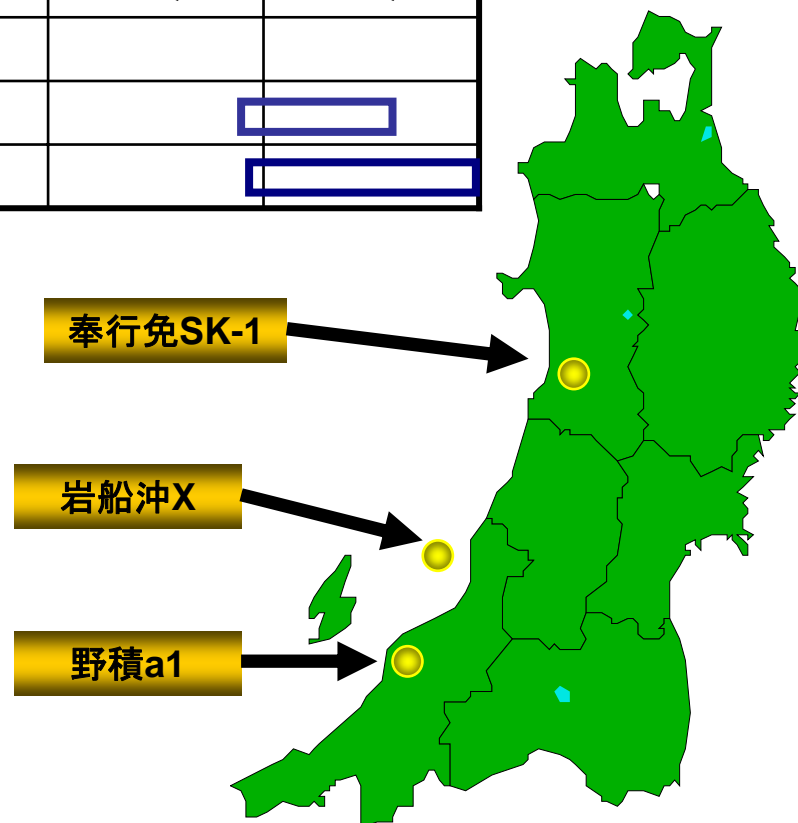
		掘削 深度	07/3期			
			1Q	2Q	3Q	4Q
試掘	奉行免SK-1	2,000m	■			
試掘	野積a1	2,550m				□
試掘	岩船沖X	3,850m				□

■ : 実績

□ : 計画

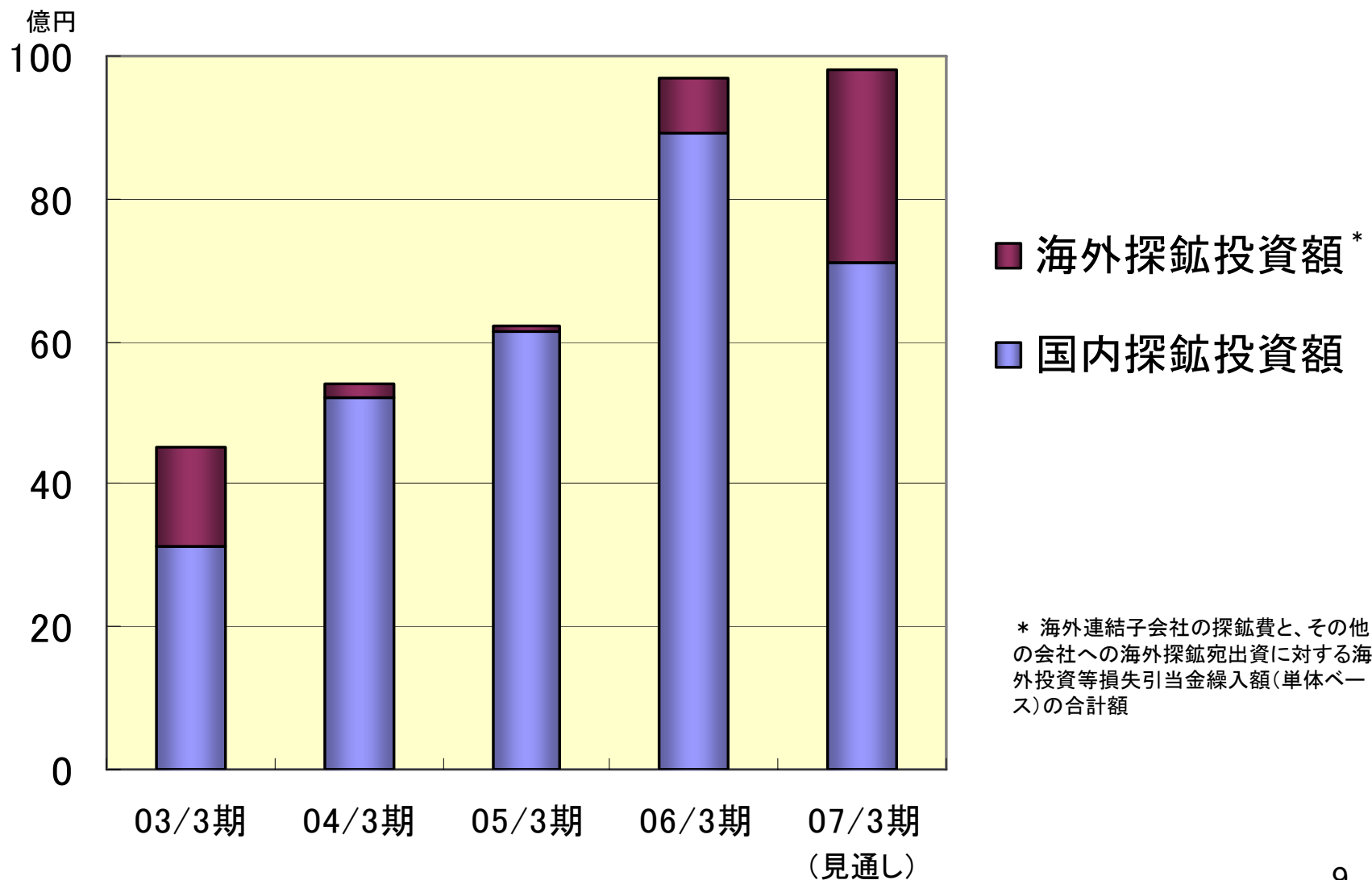
## 物理探鉱計画

- 北海道、秋田、新潟で、2D震探 137km  
(上期実績: 99km / 下期計画: 38km)
- 勇払地域で、3D震探 140km<sup>2</sup>  
(下期計画: 140km<sup>2</sup>)

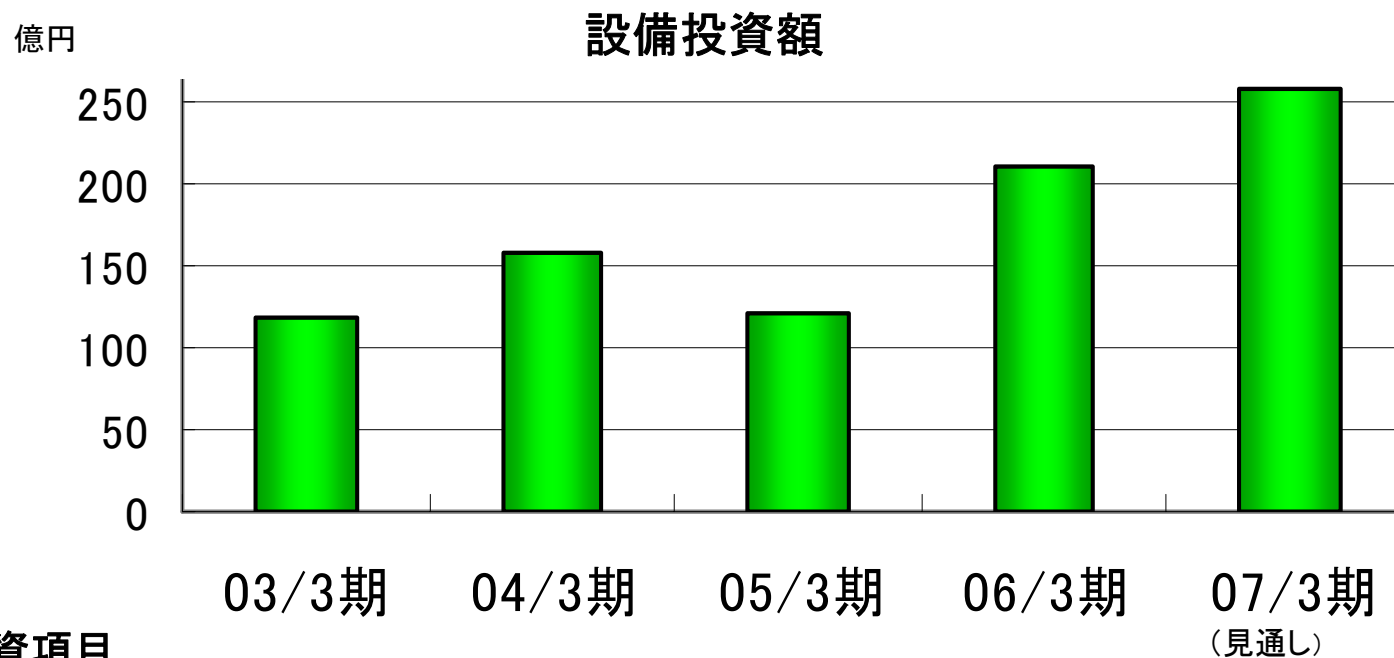




# 探鉱投資の推移



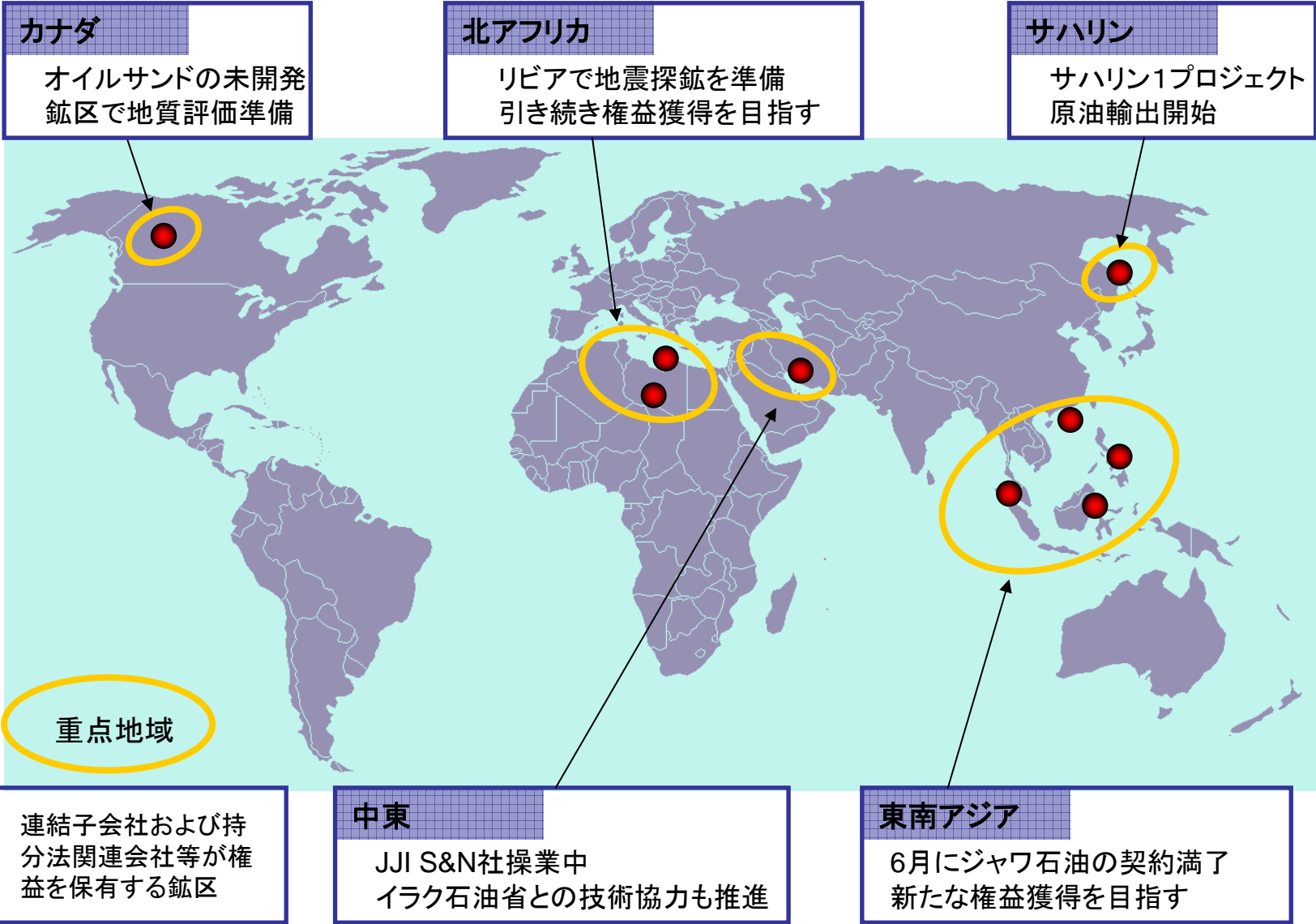
# 設備投資の推移



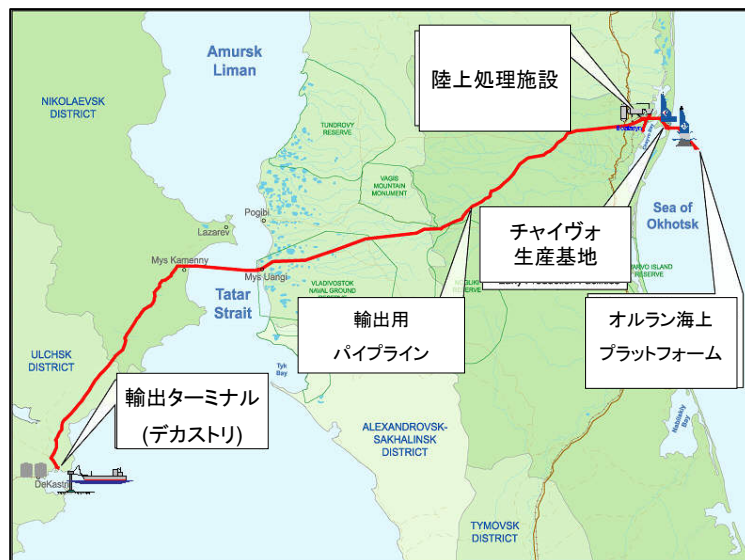
## 主な設備投資項目

勇払生産施設増強工事	03/3期	04/3期	05/3期	06/3期	07/3期
勇払 LNG 液化設備					
採掘井 掘さく工事					
由利原 生産能力増強工事					
白石・郡山間パイプライン建設					

# 海外事業 現況



# 海外事業 サハリン1現況



(出典)エクソンモービル社ホームページより引用

## サハリン石油ガス開発

- サハリン石油ガス開発(SODECO)
  - 「サハリン-1」コンソーシアムに参加
  - 権益比率: 30%
  - 当社のSODECOへの出資比率: 14.46%
  - オペレーター: エクソンネフテガス社  
(エクソンモービル子会社)
- 2006年10月、原油の輸出開始
- 原油生産量は、5万bbl/dから25万bbl/d(06年末)へ増加する予定
- ガスは約90MMcf/d(約260万m<sup>3</sup>/d)でロシア国内向けに販売中

# 海外事業 リビアにおける探鉱

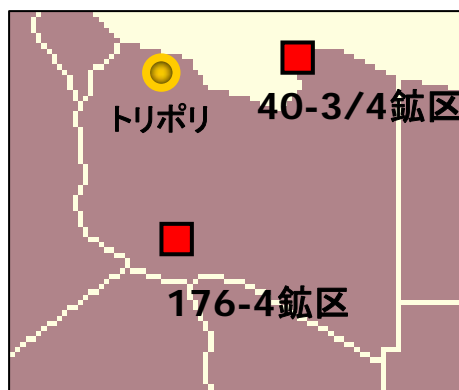
## ジャペックスリビア

### 海上 40-3/4鉱区 (地中海沿岸部)

- 権益比率: 42% (オペレーター)
- 07年1月、3D地震探鉱作業開始の予定
- 07年3月、2D地震探鉱作業開始の予定

### 陸上 176-4鉱区 (ムルズク地域)

- 権益比率: 100% (オペレーター)
- 07年2月、2D地震探鉱作業開始の予定



# 海外事業 イラクにおける取り組み

## イラク石油省との技術協力

2005年3月に技術協力覚書を締結、本年3月に1年間延長(2007年3月まで)

### ➤ 昨年度実績

- 未開発油田の評価作業
- 探鉱ポテンシャルの評価作業
- 3D地震探鉱に関する技術支援
- 石油技術者への教育訓練

### ➤ 今期計画

- バグダッド近郊油田に係る評価作業
- 原油軽質化技術および増産手段の検討
- 石油技術者への教育訓練
- 3D地震探鉱に関する技術支援



第6回共同運営委員会(2006年10月 クアラルンプール)



来日中のシャハリスタニ石油相との面談(2006年10月)

---

## 2007年3月期 - 中間期 実績

---

常務取締役 佐藤 弘

# 07/3中間期 決算サマリー

百万円	06/3月期 中間期実績	07/3月期 中間期		実績 11/14 発表
		当初見通し 5/15 公表	修正見通し 8/8 公表	
売上高	59,221	55,216	66,038	67,138
経常利益	12,459	9,185	13,784	15,750
中間純利益	8,983	6,556	9,473	10,654

### 当初見通し→修正見通し

- ✓ 原油CIF価格見通しを上方修正（\$60/bblから\$65.25/bbl）
- ✓ 為替レートを円安方向に修正（110.00円/\$から115.58円/\$）

### 修正見通し→実績

- ✓ 原油CIF価格は\$65.82/bbl（修正見通し比+ \$0.57/bbl）
- ✓ 為替は115.42円/\$（修正見通し比  $\Delta$ 0.16円/\$）



# 07/3中間期 原油販売実績

	05/3期 中間 (a)	06/3期 中間 (a)	07/3期 中間 (a)	増減 前年同期比
原油販売量(千kl)	693	913	930	+17
原油売上高(百万円)	18,476	28,823	37,226	+8,403
原油CIF価格(\$/bbl)	35.24	49.61	65.82	+16.19
為替(Yen/\$)	109.34	107.99	115.42	+7.43

権益原油の内訳	05/3期 中間 (a)	06/3期 中間 (a)	07/3期 中間 (a)	増減 前年同期比
国産原油販売量(千kl)	234	275	258	△17
売上高(百万円)	6,075	9,844	12,494	+2,650
海外子会社原油販売量(千kl)	2	84	96	+12
売上高(百万円)	54	3,024	4,806	+1,782
ビチューメン販売量(千kl)	—	226	229	+3
売上高(百万円)	—	2,231	4,410	+2,179

本資料における「国産原油」の販売量及び売上高は、買入原油を除いております。また、「海外子会社原油」の販売量及び売上高は、海外連結子会社3社(新南海石油開発株、ジャワ石油株、Japex (U.S) Corp)の合計数値を記載しています。

# 07/3中間期 天然ガス販売実績

	05/3期 中間(a)	06/3期 中間(a)	07/3期 中間(a)	増減 前年同期比
ガス販売量 (百万m <sup>3</sup> )	552	622	614	△7
ガス売上高 (百万円)	16,568	18,503	18,893	+390
国産ガス販売量(百万m <sup>3</sup> )	453	514	491	△23
国産ガス売上高(百万円)	13,733	15,578	15,389	△189

本資料における「国産ガス」の販売量及び売上高は、買入ガスを除く数値を記載しています。

➤都市ガス会社向け増販

➤電力向け販売の減少



前年同期比で数量ほぼ横ばい、売上高は2%増加

# 07/3中間期 損益変動要因(前年同期比)

単位:百万円

	06/3 中間 (a)	07/3 中間 (a)	増減
売上高	59,221	67,138	+7,917
売上総利益	25,050	29,495	+4,445
探鉱費	4,829	2,940	△1,889
販管費	11,759	14,027	2,267
営業利益	8,461	12,528	4,066
営業外損益	3,997	3,223	△774
経常利益	12,459	15,750	3,291
特別損益	△32	△60	△28
法人税等	2,882	4,200	1,317
少数株主利益	561	836	274
当期純利益	8,983	10,654	1,671

## 営業利益の主な増減要因

国産原油販売	+26億円
国産ガス販売	△ 1億円
国内掘削作業費減	+20億円
開発費ほか販管費増	△23億円
海外連結子会社寄与	+25億円
(新南海石油	+14億円)
(JACOS	+11億円)

増減要因の説明は、増益要因を+、減益要因を△で記載。

---

# 2007年3月期 – 通期業績見通し修正

---

常務取締役 佐藤 弘

# 07/3通期 業績見直し修正サマリー

単位:百万円

百万円	従来 見直し	修正見直し			増減
		1H (a)	2H (e)	通期	
売上高	123,910	67,138	90,547	157,685	+33,775
売上総利益	57,512	29,495	32,690	62,185	+4,673
探鉱費	9,320	2,940	6,539	9,479	+159
販管費	27,797	14,027	14,804	28,831	+1,034
営業利益	20,395	12,528	11,347	23,875	+3,480
営業外損益	4,525	3,223	1,732	4,955	+430
経常利益	24,920	15,750	13,080	28,830	+3,910
特別損益	△980	△60	△890	△950	+29
法人税等	5,689	4,200	2,832	7,032	+1,343
少数株主利益	1,010	836	470	1,306	+296
当期純利益	17,242	10,654	8,887	19,541	+2,299

### 営業利益の主な増減要因

国産原油販売 +18億円

国産ガス販売 △6億円

海外連結子会社寄与+23億円

(新南海石油 +11億円)

(ジャワ石油 +6億円)

(JACOS +6億円)

増減要因の説明は、増益要因を+、減益要因を△で記載。

# 07/3通期 原油販売 修正見直し

	従来 見直し	今回修正見直し			増減 従来比
		1H (a)	2H (e)	通期 (e)	
原油販売量(千kl)	1,553	930	1,236	2,166	+613
原油売上高(百万円)	50,626	37,226	47,589	84,815	+34,189
原油CIF価格(\$/bbl)	60.00	65.82	60.00	62.28	+2.28
為替(Yen/\$)	110.00	115.42	115.00	115.20	+5.20

権益原油の内訳	従来 見直し	今回修正見直し			増減 従来比
		1H (a)	2H (e)	通期 (e)	
国産原油販売量(千kl)	577	258	313	571	△6
売上高(百万円)	24,063	12,494	13,451	25,945	+1,882
海外子会社原油販売量(千kl)	158	96	102	198	+40
売上高(百万円)	6,678	4,806	4,622	9,428	+2,750
ビチューメン販売量(千kl)	463	229	202	431	△ 32
売上高(百万円)	6,824	4,410	3,730	8,140	+1,316

本資料における「国産原油」の販売量及び売上高は、買入原油を除いております。また、「海外子会社原油」の販売量及び売上高は、海外連結子会社3社(新南海石油開発株、ジャワ石油株、Japex (U.S) Corp)の合計数値を記載しています。

# 07/3通期 天然ガス販売 修正見直し

	従来 見直し	今回 修正見直し			増減 従来見直し比
		1H (a)	2H (e)	通期(e)	
ガス販売量 (百万m <sup>3</sup> )	1,442	614	797	1,411	△ 31
ガス売上高 (百万円)	44,443	18,893	25,257	44,150	△ 292
国産ガス販売量(百万m <sup>3</sup> )	1,130	491	603	1,094	△ 36
国産ガス売上高(百万円)	35,553	15,389	19,474	34,863	△ 690

本資料における「国産ガス」の販売量及び売上高は、買入ガスを除く数値を記載しています。

# 07/3通期 損益変動要因(前期比)

単位:百万円

	06/3 通期 (a)	07/3 通期 (e)	増減 前期比
売上高	138,796	157,685	+18,889
売上総利益	61,362	62,185	+823
探鉱費	9,677	9,479	△198
販管費	24,666	28,831	+4,165
営業利益	27,018	23,875	△3,143
営業外損益	4,172	4,955	+783
経常利益	31,190	28,830	△2,360
特別損益	△24	950	△926
法人税等	9,294	7,032	△2,262
少数株主利益	1,655	1,306	△349
当期純利益	20,216	19,541	△675

## 営業利益の主な増減要因

国産原油販売	+28億円
国産ガス販売	△11億円
償却費ほか売上原価増	△13億円
開発費ほか販管費増	△32億円

増減要因の説明は、増益要因を+、減益要因を△で記載。



# 07/3通期

## 原油販売見直し(前期比)

	05/3 通期 (a)	06/3 通期 (a)	07/3 通期 (e)	増減 前年同期比
原油販売量(千kl)	1,380	1,934	2,166	+232
原油売上高(百万円)	38,211	67,711	84,815	+17,104
油価CIF(\$/bbl)	38.18	54.10	62.28	+8.18
為替(Yen/\$)	107.26	112.44	115.20	+2.76

権益原油の内訳	05/3 通期 (a)	06/3 通期 (a)	07/3 通期 (e)	増減 前年同期比
国産原油販売量(千kl)	545	590	571	△ 19
売上高(百万円)	14,248	23,103	25,945	+2,842
海外子会社原油販売量(千kl)	116	217	198	△ 19
売上高(百万円)	3,282	8,575	9,428	+853
ビチューメン販売量(千kl)	—	448	431	△ 17
売上高(百万円)	—	6,526	8,140	+1,614

本資料における「国産原油」の販売量及び売上高は、買入原油を除いております。また、「海外子会社原油」の販売量及び売上高は、海外連結子会社3社(新南海石油開発株、ジャワ石油株、Japex (U.S) Corp)の合計数値を記載しています。

# 07/3通期 ガス販売見直し(前期比)

	05/3 通期(a)	06/3 通期(a)	07/3 通期(e)	増減 前期比
販売量(百万m3)	1,276	1,413	1,411	△ 2
売上高(百万円)	39,867	43,539	44,150	+611
国産ガス販売量(百万m3)	1,048	1,145	1,094	△ 51
〃 売上高(百万円)	33,064	35,998	34,863	△ 1,135

本資料における「国産ガス」の販売量及び売上高は、買入ガスを除く数値を記載しています。

- 北海道での販売が拡大
- 都市ガス向けの販売が好調
- 電力向け販売は前期比で減少



前期比で数量ほぼ横ばい、売上高は1.3%増加

# 油価及び為替の前提

	06/3	07/3	07/3		増減	
	通期(a)	従来見直し	1H(a)	2H(e)		通期(e)
油価(\$/bbl)	54.10	60.00	65.82	※ 60.00	62.28	+2.28
為替(Yen/\$)	112.44	110.00	115.42	115.00	115.20	+5.20

※ 3Q \$65/bbl, 4Q \$55/bbl

## 下期の油価が\$1/bbl上昇による利益増加額(参考値)

営業利益	270百万円
経常利益	270百万円
当期純利益	175百万円

注 ビチューメンの販売価格は通常の原油価格とは異なる動きを示すことが多いため、オイルサンド事業に関する油価変動の影響は、ここに示した数値には含まれていません。

## 下期の為替が¥5/\$の円安による利益増加額(参考値)

営業利益	650百万円
経常利益	650百万円
当期純利益	400百万円

注 為替変動の影響に関して、左記に示したものの以外に、当社及び連結子会社の保有する外貨建金銭債権債務(ヘッジ会計適用分を除く)の為替レート換算差額が発生します(各四半期末毎の評価差額を営業外損益に計上)。